

夏休みをふり返る。そして、あいさつについて考える！

2学期が始まり、子供達の元気な声が学校に戻ってきました。始業式では、まず、2学期に頑張りたいことの発表がありました。「ニコニコのあいさつをする」「体をたくさん動かす」「苦手な教科を頑張る」など一人一人発表することができました。私からは2つのことを話しました。

1つ目は、夏休みの振り返りについてです。1学期の終業式では、「夏休みは自由な時間が増えます。自由な時間があるということは『好き勝手に何も考えずに過ごす』ということではなく、『自分で考えて行動を決める』ことが大切です。」という話をしました。ご家庭では、自分で考えて、自分で決めて、自分で行動することができただしょうか。「考動」「自律」へ向けて、少しでも成長してくれたならうれしいです。ご家庭で、夏休みのくらしについての振り返りをお願いします。

2つ目は、あいさつについてです。あいさつは、「おはようございます」「ありがとうございます」「いってきます」「ただいま」…とたくさんあります。あいさつは、自分を知ってもらうきっかけになります。素敵なあいさつができれば「素敵な人だな」と好印象を与えることができるでしょう。また、あいさつは、相手に安心感を与えることができます。素敵なあいさつをされたら「受け入れられている」「気持ちが良いな」と感じることでしょう。逆に、あいさつがなかったらと想像してみると「この人はどんな人？」「話しかけていいのだろうか？」と戸惑いを感じてしまいます。素敵なあいさつの仕方についても考えました。「レベル0：あいさつをされたら返す」「レベル1：自分から進んで」「レベル2：目を見て」「レベル3：気持ちのよい声の大きさで」「レベル4：笑顔で」ではいかがでしょうか。もっと素敵なあいさつの仕方があるかもしれませんね。家の近所、そしてご家庭でのあいさつはいかがでしょうか？子供達に「家であいさつをしていますか？」と尋ねたら、みんなの手が挙がりました。家族のぬくもりの中で過ごしているんだなと感じました。私が、なぜあいさつの話をしたかということ、「子供達は、もっと素敵なあいさつができるはずだ」と子供達の伸びしろを感じたからです。子供達が出会う人々には「素敵な子供達だな」と感じてほしいと願っています。あいさつは、短い言葉ですが、大きな力を持った大切な言葉であると思います。大人も子供も素敵なあいさつを交わし、素敵な毎日を積み重ねていきたいと思います。



- ★8月10日から11日にかけての大雨は、八代市に大きな被害をもたらしました。八竜小の校地校舎の被害はありませんでしたが、大きな被害があった学校もありました。被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。
- ★8月17日は、早朝からPTA愛校作業に参加いただきありがとうございました。運動場、花壇、中庭ときれいになりました。気持ちよく2学期をスタートすることができました。
- ★8月20日は、八竜小と坂本中の先生方で合同研修会を行いました。鮎尾の西福寺で、戦争などについての話をうかがいました。日光の棚田も見学予定でしたが、雨天のため西福寺で米作りについての話をうかがいました。坂本を知る良い機会になりました。